

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年7月15日
【四半期会計期間】	第100期第2四半期（自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日）
【会社名】	川上塗料株式会社
【英訳名】	KAWAKAMI PAINT MFG.CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 野村 茂光
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼総務部長 松下 田佳子
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼総務部長 松下 田佳子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第99期 第2四半期連結 累計期間	第100期 第2四半期連結 累計期間	第99期
会計期間	自平成24年 12月1日 至平成25年 5月31日	自平成25年 12月1日 至平成26年 5月31日	自平成24年 12月1日 至平成25年 11月30日
売上高(千円)	2,834,035	3,191,774	5,935,903
経常利益(千円)	55,045	181,713	171,666
四半期(当期)純利益(千円)	39,376	111,699	136,796
四半期包括利益又は包括利益(千円)	146,688	98,832	269,935
純資産額(千円)	708,951	930,897	832,135
総資産額(千円)	5,660,166	6,981,632	6,327,059
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	3.95	11.21	13.72
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	12.53	13.33	13.15
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	201,210	431,822	302,354
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	22,800	22,459	37,130
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	53,311	146,816	66,862
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	816,174	1,448,379	891,196

回次	第99期 第2四半期連結 会計期間	第100期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 5月31日
1株当たり四半期純利益(円)	2.95	5.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載いたしました「事業等のリスク」について、重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

##### (経営成績の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られ、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動も見られますが、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは前連結会計年度に引き続き新規需要開拓、生産効率の向上などの事業基盤の拡充に注力致しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高3,191百万円（前年同期比12.6%増）、経常利益181百万円（前年同期比230.1%増）、四半期純利益111百万円（前年同期比183.7%増）となりました。

なお、当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

##### (財政状態の分析)

##### (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が556百万円増加したこと等により、6,981百万円（前連結会計年度末比654百万円増）となりました。

##### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が80百万円、短期借入金が77百万円それぞれ増加したこと等により、6,050百万円（前連結会計年度末比555百万円増）となりました。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が111百万円増加し、その他有価証券評価差額金が12百万円減少したこと等により930百万円（前連結会計年度末比98百万円増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,448百万円（前年同期末残高816百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は431百万円（前年同期は201百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益181百万円、売上債権の減少64百万円、仕入債務の増加80百万円、退職給付引当金の増加48百万円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は22百万円（前年同期は22百万円の減少）となりました。これは主に生産設備の維持更新のための有形固定資産の取得による支出23百万円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は146百万円（前年同期は53百万円の減少）となりました。これは主に長期借入れによる収入428百万円、短期借入金の純増額80百万円、長期借入金の返済による支出354百万円等によるものであります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

( 4 ) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は132百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

また、研究開発による新製品は、次のとおりであります。

- ・車両内装用高反射塗料
- ・高耐候性H A Aタイプ粉体塗料

( 5 ) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中でありました当社千葉工場粉体塗料生産設備の新設につきましては、平成26年3月に完了しております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年7月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	10,000,000	10,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年3月1日～ 平成26年5月31日	-	10,000,000	-	500,000	-	41,095

(6)【大株主の状況】

平成26年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
川上塗料共栄会	兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1	686	6.86
三井物産(株)	東京都千代田区大手町1-2-1	601	6.01
三井化学(株)	東京都港区東新橋1-5-2	570	5.70
日本証券金融(株)	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	297	2.97
みずほ信託銀行(株)	東京都中央区八重洲1-2-1	260	2.60
関西ペイント(株)	大阪市中央区今橋2-6-14	248	2.48
住友生命保険(相)	東京都中央区築地7-18-24	225	2.25
川上塗料従業員持株会	兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1	160	1.60
山上完平	東京都江戸川区	139	1.39
三井物産ケミカル(株)	東京都千代田区大手町1-3-1	128	1.28
計	-	3,315	33.15

- (注) 1. は当社取引先の販売店持株会であります。  
2. 所有株式数は千株未満を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成26年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(普通株式) 48,000	-	-
完全議決権株式(その他)	(普通株式) 9,909,000	9,909	-
単元未満株式	(普通株式) 43,000	-	-
発行済株式総数	10,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,909	-

【自己株式等】

平成26年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
川上塗料(株)	兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1	26,000	-	26,000	0.26
(株)友進商会	大阪府守口市大庭町2-8-24	-	22,000	22,000	0.22
計	-	26,000	22,000	48,000	0.48

(注) (株)友進商会は当社取引先の販売店持株会である川上塗料共栄会(兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1)の会員であり、川上塗料共栄会名義で所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	892,096	1,448,379
受取手形及び売掛金	<sup>3</sup> 2,404,133	<sup>3</sup> 2,339,824
商品及び製品	785,468	852,293
仕掛品	31,474	37,369
原材料及び貯蔵品	270,564	235,033
その他	57,477	81,533
流動資産合計	4,441,214	4,994,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	385,579	377,274
機械装置及び運搬具(純額)	103,208	101,922
土地	775,505	775,505
その他(純額)	37,776	164,396
有形固定資産合計	1,302,069	1,419,098
無形固定資産	10,512	9,403
投資その他の資産		
投資有価証券	525,761	510,275
その他	47,502	48,420
投資その他の資産合計	573,263	558,695
固定資産合計	1,885,845	1,987,198
資産合計	6,327,059	6,981,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>3</sup> 2,202,325	<sup>3</sup> 2,282,601
短期借入金	1,531,090	1,608,664
未払法人税等	27,840	74,816
その他	<sup>3</sup> 265,868	<sup>3</sup> 410,668
流動負債合計	4,027,124	4,376,751
固定負債		
長期借入金	683,174	759,512
繰延税金負債	98,856	94,863
退職給付引当金	498,209	546,677
役員退職慰労引当金	66,420	50,264
その他	121,139	222,667
固定負債合計	1,467,799	1,673,984
負債合計	5,494,923	6,050,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	41,095	41,095
利益剰余金	94,059	205,759
自己株式	7,104	7,174
株主資本合計	628,050	739,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,084	191,217
その他の包括利益累計額合計	204,084	191,217
純資産合計	832,135	930,897
負債純資産合計	6,327,059	6,981,632

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	2,834,035	3,191,774
売上原価	2,352,400	2,567,972
売上総利益	481,634	623,801
販売費及び一般管理費	438,378	449,805
営業利益	43,256	173,995
営業外収益		
受取利息	70	88
受取配当金	4,397	7,419
持分法による投資利益	2,599	1,190
技術権利料	18,414	11,468
固定資産賃貸料	1,823	1,980
その他	12,862	4,718
営業外収益合計	40,167	26,866
営業外費用		
支払利息	16,434	14,563
クレーム補償金	11,317	2,697
その他	626	1,887
営業外費用合計	28,378	19,148
経常利益	55,045	181,713
特別損失		
投資有価証券売却損	8,766	-
特別損失合計	8,766	-
税金等調整前四半期純利益	46,278	181,713
法人税、住民税及び事業税	6,924	70,036
法人税等調整額	22	22
法人税等合計	6,902	70,013
少数株主損益調整前四半期純利益	39,376	111,699
四半期純利益	39,376	111,699

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39,376	111,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,312	12,867
その他の包括利益合計	107,312	12,867
四半期包括利益	146,688	98,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,688	98,832
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	46,278	181,713
減価償却費	32,220	38,589
退職給付引当金の増減額(は減少)	65,486	48,467
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,596	16,156
貸倒引当金の増減額(は減少)	23	-
受取利息及び受取配当金	4,467	7,508
支払利息	16,434	14,563
為替差損益(は益)	3,695	1,003
持分法による投資損益(は益)	2,599	1,190
投資有価証券売却損益(は益)	8,766	-
売上債権の増減額(は増加)	208,746	64,308
たな卸資産の増減額(は増加)	10,625	37,188
仕入債務の増減額(は減少)	139,935	80,276
その他	25,975	108,279
小計	216,459	473,151
利息及び配当金の受取額	4,967	7,508
利息の支払額	17,082	15,676
法人税等の支払額	3,134	33,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,210	431,822
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	900
有形固定資産の取得による支出	39,988	23,048
無形固定資産の取得による支出	6,778	-
投資有価証券の取得による支出	180	180
投資有価証券の売却による収入	25,000	-
その他	854	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,800	22,459
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	20,000	80,000
長期借入れによる収入	200,000	428,100
長期借入金の返済による支出	232,021	354,188
リース債務の返済による支出	1,290	7,044
その他	-	51
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,311	146,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,641	1,004
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	128,739	557,183
現金及び現金同等物の期首残高	687,434	891,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	816,174	1,448,379

【注記事項】

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については従来の38.3%から35.9%になります。

なお、この税率変更による影響額はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

三井物産ケミカル(株)の売掛債権に対する保証額であります。

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
	51,340千円	42,998千円

2. 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
	55,786千円	64,726千円

3. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
受取手形	125,977千円	162,512千円
支払手形	220,805千円	288,015千円
流動負債 その他(設備支払手形)	112千円	1,854千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
従業員給料	106,908千円	113,454千円
運送費	74,311	76,182
退職給付費用	25,195	24,693
役員退職慰労引当金繰入額	4,596	6,450

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
現金及び預金勘定	817,074千円	1,448,379千円
預入期間が3か月を超える定期預金	900	-
現金及び現金同等物	816,174	1,448,379

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

当社グループは塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

当社グループは塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
1株当たり四半期純利益	3円95銭	11円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	39,376	111,699
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	39,376	111,699
普通株式の期中平均株式数(株)	9,967,573	9,966,491

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年7月15日

川上塗料株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 林 由佳 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大谷 智英 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川上塗料株式会社の平成25年12月1日から平成26年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川上塗料株式会社及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。